

家族とのけんか (対立)

ねらい

人がその場に二人以上存在すれば、立場や意見の違いから対立が起ることは、人間社会の特徴であり、自然なことである。子どもたちにとって家族は、最初に出会う社会であり、対立を一番身近かに体験する場でもある。

一方、国際社会において、対立の原因が、ますます複雑かつ多様になってきている中、対立を暴力に訴えることなく、お互いが納得し、そこからよりいい関係が生まれるような『建設的な解決策』がますます求められてくる。

そこで、家族、クラス、地域、国、世界での対立とその取り扱い方の事例を学ぶことを通じて『建設的な解決策』を理解し、対立が子ども自身の身の回りで起きた際に、その解決策を積極的に応用できるようになってほしい

学習者の目標

知識

- 家族での対立と同様なことが、クラス、地域、国、世界でも起っていること、そしてそれらの対立の解決に向けた様々な取り組みが行われていることを知り、様々な対立の原因とその取り扱い方を知る。
- 建設的な解決策の方途について知る。

技能

- 様々な対立とその取り扱い方の事例について調べ、それらを分析分類することができる。
- 様々な対立の取り扱い方の中から、その場の状況に応じた効果的な方法を見つけることができる。

態度

- 自分の身の回りの様々な場面で起っている対立を、自ら進んでそれを建設的に解決しようとする。

対 象 小学校高学年以上

学習計画

総時間
15
時間

	内 容	時間	主 な 手 法
1	どんなもめことがあるのかな？	2	ロールプレイ
2	家族のもめごとと世界で起きているもめごとと同じ？	3	関連図づくり
3	『ウイン・ウイン型解決法』ってどんなこと？	1	表づくり
4	対立を和らげる方法を考えてみよう	1	ブレーンストーミング
5	対立の問題を系統だてて考えてみよう	1	
6	対立の建設的な解決策をまとめてみよう	1	KJ法
7	自分の家族へ思いを伝えよう	1	
8	実践してみよう！「もめごと解決実践週間」		

1 どんなもめごとがあるのかな？ (2時間) (主な手法：ロールプレイ)

1. ロールプレイの内容を考える

- ①どこかでよくあるようなもめごと／衝突／けんかの事例をブレーストーミングの手法を使ってできるだけ書き出す。(→「ブレーストーミング」P63)

例

- 兄弟でのチャンネルのとりあい、門限のことで親と口論になった。勉強しなさいと親がうるさい、など
- ②自分がロールプレイしたい事例同士で集まる。5人以上の場合は2グループに分けるなどして調整する。
- ③ロールプレイのやり方の説明を理解する。(→「ロールプレイ」P67)
- ④各グループで、そのもめごとについて2つ以上の取り扱い方のシナリオを考える。

例

- 兄弟でチャンネルのとりあいになった。
 - ・取り扱い1→話し合いをして今回はお兄さんが譲ることになった。
 - ・取り扱い2→取っ組み合いの喧嘩になり、力の強いお兄さんがそのチャンネルをとった。

2. 発表とふりかえり

- ①発表する。
- ②今日の活動を振り返る。



- どの取り扱いが好きか、それはなぜか？
- それぞれの取り扱いの分岐点となったところはどこか？
- その他、気がついたこと、分ったことはなにか？

2 家族のもめごとって世界で起きているもめごとと同じ？ (3時間) (主な手法：関連図づくり)

1. 家族内の対立とその取り扱い方の事例进行分类する。

- ①前時間と同じグループに分かれる。
- ②前回自分達が演じたロールプレイで、その対立の原因とその取り扱いについて、種類例に基づいて分類する(必ずしも1つとは限らない)。

対立の原因の種類例

- 「損得」「ルール違反」「嫉妬」「誤解」「立場の違い」「利害」など

対立の取り扱いの種類例

- 「攻撃する」「譲る」「諦める」「後回しにする」「第3者に決めてもらう」「交渉する」など

- ③発表する。
- ④今日の活動を振り返る。

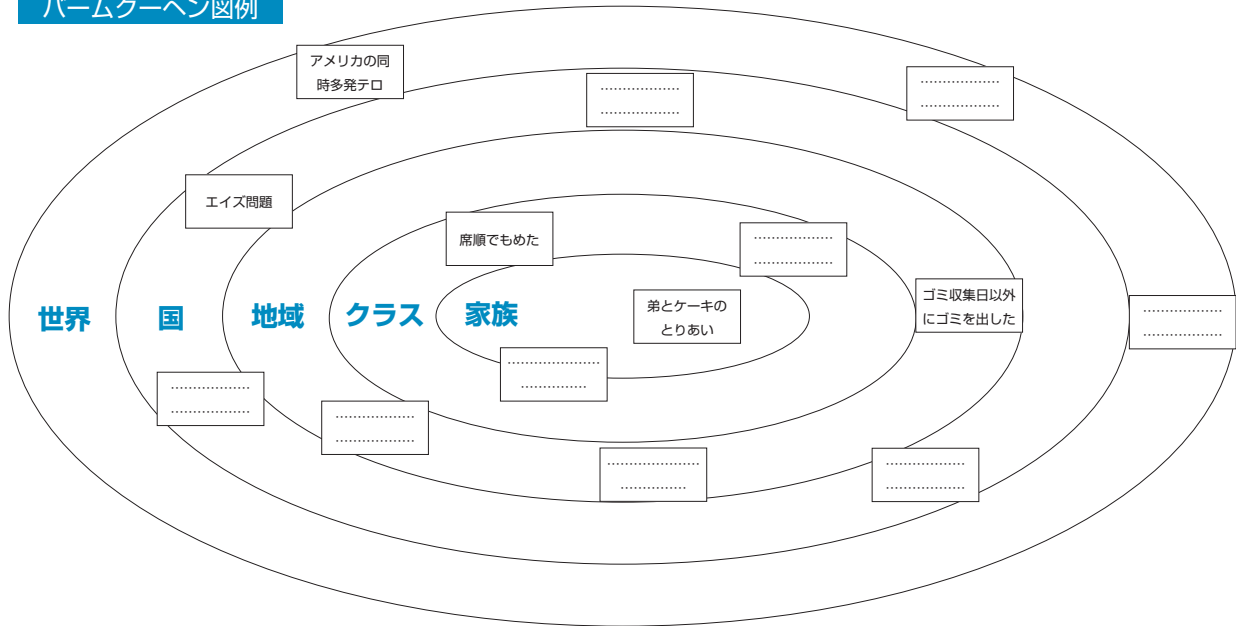


- どんなところがむずかしかったか？
- 気がついたこと、分ったことはなにか？

2. クラス、地域、国、世界レベルの対立の事例を調べる。

- ①4～5人のグループに分かれる。
- ②クラスで、地域で、国で、世界で最近起こった対立の事例を、1週間分くらい最近の新聞記事の中や、日常生活の振り返りの中で見つけてカードに貼り(書き)、レベル毎にバームクーヘン図に貼っていく。

バームクーヘン図例



③今日の活動を振り返る。

教師の 問いかけ例

- 特に印象に残った事例はどれか？
- どのレベルで起った事例が多かったか？
- その他分ったこと、気がついたことはなにか？

3. 家族、クラス、地域、国、世界での対立の事例を分析する。

- ①前学習で作成したバームクーヘン図の中のそれぞれの対立の事例について、その対立の原因と取り扱いの分類を、家族と同様にどれにあてはまるか考える。
- ②各対立のカードに原因と取り扱いの種類名が書かれた色別のポストイットを貼っていく。
- ③発表する。
- ④今日の活動を振り返る。

教師の 問いかけ例

- どんな原因の対立が多かったか？
- どんな取り扱いが多かったか？
- 好きな（気に入った）事例の結末はどれか、それはなぜか？
- 嫌いな（気に入らない）事例の結末はどれか、それはなぜか？
- 分類していて難しかった事例はどれか？
- その他分ったこと、気がついたことはなにか？

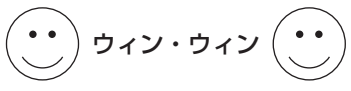
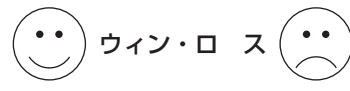
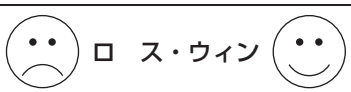

発展

高校生レベルでは、対立の原因や取り扱い方の種類を指導者側から提示するのではなく、KJ法を使い、自ら探し出すことも可能。（→「KJ法」P64）

3 『ウィン・ウィン型解決法*』ってどんなこと (1時間) (主な手法：表づくり)

*対立している人たち全員の要求や目標を満たすような (どちらにとってもウィン (Win)・ウィン (Win)) やり方で問題を解決する方法

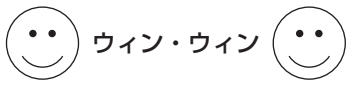
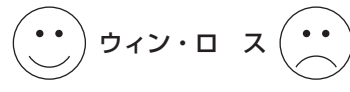
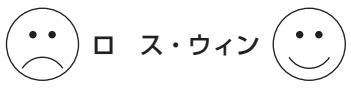

『ウィン・ウィン四分表』(『対立から学ぼう (P95)』(国際理解教育センター発行) より引用)

 ウィン・ウィン 両方とも求めるものを得る	 ウィン・ロス 人物1は求めるものが得るが、人物2は得られない
 ロス・ウィン 人物1は求めるものが得られないが、人物2は得る	 ロス・ロス どちらの人物も求めるものが得られない

1. グループに分かれる。
2. **1** で出された事例を一つ選び、『ウィン・ウィン四分表』に当てはめてみる。

例

●お兄さんとテレビのチャンネルあそい

 ウィン・ウィン <ul style="list-style-type: none"> ●話し合いの結果、今回はお兄さんで、次回は弟と決める。 ●親と話しをして、テレビをもう一台買ってもらう。 	 ウィン・ロス <ul style="list-style-type: none"> ●取っ組み合いのけんかの結果、お兄さんがチャンネルを取る。 ●じゃんけんの結果、お兄ちゃんがチャンネルを取る。 ●もめごとの理由を聞いていた親の判断に従い、お兄ちゃんがチャンネルを取る。
 ロス・ウィン <ul style="list-style-type: none"> ●お兄さんはが諦め、弟がチャンネルを取る。 ●じゃんけんの結果、弟がチャンネルを取る。 ●もめごとの理由を聞いていた親の判断に従い、弟がチャンネルを取る。 	 ロス・ロス <ul style="list-style-type: none"> ●絶交して、それぞれの部屋にこもる。 ●もめごとを見ていた親に怒られ、テレビを見ないように言われる。

3. 発表する
4. 今日の活動を振り返る。

教師の
問いかけ例

- どの欄を書くのが一番やさしかったか？
- どの欄を書くのが一番難しかったか？
- その他分ったこと、気がついたことはなにか？

4 対立を緩和する方法を考えてみよう (1時間) (主な手法：ブレインストーミング)

1. グループに分かれる。
2. 対立が起きた時に、どんな気持ちだったか、そしてその気持ちがどう態度として現れたかブレインストーミングの手法で書き出す。(→「ブレインストーミング」P63)

例

- 気持ち→気にさわる。イライラする。怒る。激怒する。腹が立つ。諦める。など。
- 態度→大声を出す。暴力を振う。顔が赤くなる。相手を否定した言い方をする。逃げる。など

3. 対立の気持ちと態度の緩和のための方法をブレインストーミングの方法で書き出す。

例

- 「あなたは・・・だ」という言い方から「わたしは・・・と思う」の言い方に変えてみる。
- 深呼吸する。
- 「話し合いをしようよ」と言う。

4. 発表する。
5. 今日の活動を振り返る。

教師の

問いかけ例

- おもしろいと思った緩和の方法はどれか？
- その他分ったこと、気がついたことはなにか？

5 対立の問題を系統だてて考えよう (1時間)

1. 一般的な家族での未解決の対立の問題を系統だてて考える。
 - ①グループに分かれる。
 - ②一般的な家族でのもめごとの事例が書かれた文章を読み、次の5つの質問に答える。

例

- 一郎と次郎は2人兄弟。次郎は毎週木曜日8時からの番組を楽しみにしていて、今日もそれが始る前にテレビのチャンネルを合わせて、始るのをいまかいまかと待っていた。そこへ一郎がやってきて「今日特別番組があってとてもおもしろそうなんだ。いつもお前にはこの時間のチャンネル権は、渡しているんだから、今日くらい、俺の見たい番組を見たいからみせろ」といって、勝手にチャンネルを変えてしまった。次郎は、納得いかずリモコンを力づくで取りかえした。それに対し一郎は、・・・。

5つの質問

- これは、何について対立か (全体像を掴む)。
- 対立が起るまでには、どんなことがあったのか (背景を知る)。
- どのような解決策が考えられるか (できるだけ多くの解決策を考える)。
- どのような解決策が理想的か (適切な解決策をランキングを使って選ぶ)。
- その解決策のために、具体的に当事者たちはどんなことをしたらいいのか (行動する)。

- ③発表する。

- ④今日の活動を振り返る。

教師の

問いかけ例

- どこの質問が難しかったか？
- 各グループの結論は同じだったか？
- その他分ったこと、気がついたことはなにか？

発展

世界の出来事で未解決の対立の問題を系統だって考える。なお、背景については、新聞、図書、インターネット、テレビなどによって情報を集めて考える。



- アメリカ同時テロ事件については、国際理解教育センターのレッスンバンク「高校生と考える 対立の背景」「高校生と考える 対立の解決・アドボカシ」「アフガニスタン、これから」などで、その取り組み方について紹介している。

6 対立の建設的な解決策をまとめてみよう (1時間) (主な手法:KJ法)

1. グループに分かれる。
2. いままでの学習を通じて、どんな解決策がいいのかKJ法を使って考える。(→「KJ法」P64)
3. 発表する。
4. 今日の活動を振り返る。



- 他のグループと同じだったところ、違ったところはどこか？
- その他分ったこと、気がついたことはなにか？

7 自分の家族への思いを伝えよう (1時間)

1. 最近自分の家族で起ったもめごとについて、前々時間5の質問に答える。
2. それをもとに、その家族の当事者に手紙を書き、返事をもらう。(信頼できる友人や先生等いれば、手紙を送る前に内容を見て、アドバイスをもらう。)
3. 今日の活動を振り返る。



- どんな気持ちになったか？
- 分ったこと、気がついたことはなにか？

8 実践してみよう！『もめごと解決実践週間』(1時間)

1. 1週間という期限を決めて、日々の各個人が関わったもめごと(家族、クラス)とその解決策を日誌に書き、家族、友人、先生などと交換日誌(メール)をする。
2. 実践週間の活動を振り返る。



- うまくいったことはどんなことか、それはなぜか？
- うまくいかなかったことはどんなことか、それはなぜか？
- その他分ったこと、気がついたことはなにか？



対立から学ぶ(国際理解教育センター発行)
みんなとの人間関係を豊かにする教材55(小学館発行)